

国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル（世界単一党）を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

7・21共産同政治集会基調 .....P2~8	2002年 8月1日 第565号 編集発行人 海路 薫 一部 300円	<h1>火焚ソル</h1> <p>NOROSHI</p>	<b>共産主義者同盟（全国委員会）</b> ■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19 明豊ビル401号 大労協内 TEL(06)6371-3706 ○郵便振替 00930-0-63333 ○銀行口座 第一勧銀 551-1058150
----------------------------	---	------------------------------	---



共産主義運動再建の重要性を確認した7・21共産同政治集会



アロヨ政権打倒に立ち上がるフィリピン人民（7月22日・マニラ）

有事関連三法案の制定を許さず、今年度前半期の攻防を全力でたたか抜いてきた全国の労働者・学生の皆さん！労働者人民のたたかいとその全国的な広がりの前に小泉政権は、いったん七月末まで延長された通常国会での有事三法制定を断念した。国会をめぐる攻防は、秋の臨時国会に移された。このようななかで、われわれ共産主義者同盟（全国委員会）は、引き続き有事三法案を廃案に追い込む全国人民政治闘争の発展のためにたたかうとともに、全世界の労働者・被抑圧人民と連帯し、有事法制反対闘争を国際的な反戦闘争と結合するために全力でたたかう決意である。

ブッシュ政権の「対テロ戦争」の拡大と小泉政権による有事法制・改憲攻撃に対して、労働者人民の国際的な共同闘争を組織していくことは極めて重要な任務となっている。韓国・議政府市では、さる六月に、米軍装甲車が一般道路を歩いていた女子中学生二人をひき殺すという事件が発生した。これを単なる事故だとし、謝罪もおこなわず、遺族が告訴している責任者を米国本土に逃亡させた米軍に対して、韓国では「米軍装甲車による女子中学生殺人事件判決国民対策委員会」がつくられ、真相究明と責任者処罰、ブッシュ大統領による謝罪などを要求して闘争を展開している。米軍に対する怒りは日に日に高まっている。またフィリピンでは、沖縄から派兵されたグリーンベレーをはじめとする米軍とフィリピン国軍による合同軍事演習バリカタン02-1に続いて、この一〇月からルソン島にも範囲を広げ新たな米比合同軍事演習が開始されることが発表されるなかで、BAYANやKMUをはじめとする民族民主勢力が米国のフィリピン軍事介入に対する闘争を強化している。このようなかで、七月二九日、日本政府・沖縄県・名護市は、代替施設協議会において、名護新基地をリーフ（環礁）上埋め立て工法で建設することを決定し、いよいよ基地建設の攻撃を強めている。

アジアや沖縄の民衆のたたかいに連帯し、アジアで強まる米軍展開に対する闘争と有事法制反対闘争を結合し、日米の侵略戦争策動とたたかう反帝国際共同闘争を発展させていこうではないか。

名護新基地基本計画の決定弾劾

# ●七・二一共産同政治集会基調

今春季、日帝一獨占資本の有事立法攻撃との闘争を担い抜いてきた同志・友人の皆さん。ふたたび侵略と暗黒の時代をよみがえらせるのか、それとも日帝一獨占資本を打倒するのかをめぐる本格的攻防の一時代が、私たちの眼前で始まりました。

この攻防の一時代をどのように捉え、どのようにたたかい抜いていくべきなのか。このたたかいを、「もう一つの世界」を求める全世界の労働者・民衆の国境を越えて広がるたたかいと、どのように結びつけていくべきなのか。すなわち別の言葉で言えば、抑圧された民衆の希望としての共産主義の生命力を、どのように復興させていくのか。そしてどのようになにたたかい、これを実現するための団結と組織を獲得していくのか。本集会において、共産主義者同盟（全国委員会）より、これらについての提起を行います。

# どうして このよき時代 が始ま ったのか

や有事三法案が国会に上程され、これに反対するたたかいが全国津々浦々からわきおこり、法案をめぐる攻防を繰り広げました。日帝一小泉は、野党のみならず与党内部からも廃案の声が起ころう中、法案成立のメドが立たなくなることを恐れ、衆院段階で継続審議とする方針を固めています。今国会がダメでも、何が何でも有事法を制定しようとしています。

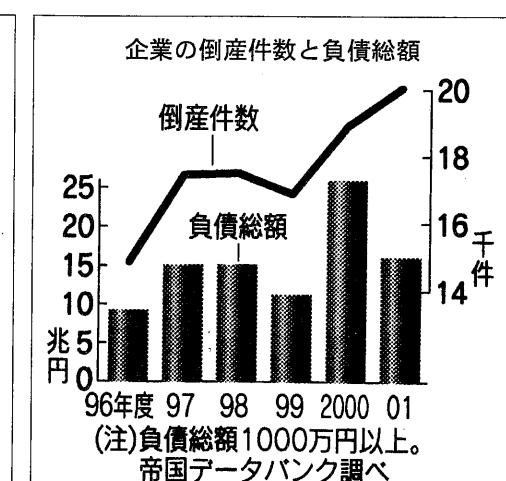
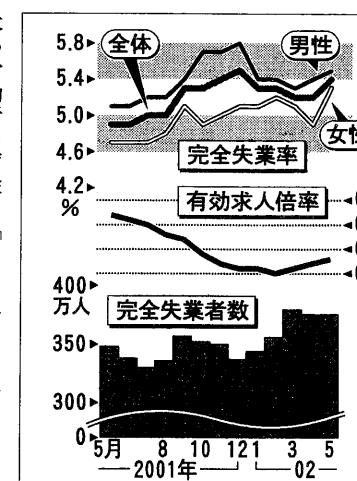
これらを脅かす反抗を鎮圧するため、侵略反革命戦争の発動は不可避免です。日帝－独占資本にとって、これを支える国家総動員体制が必要です。そして、戦争発動や戦争政策遂行に対する抵抗闘争が、政治過程に噴出しないような強権的政治支配体制が必要です。

有事三法案には、首相の判断一つで、自治体・港湾・空港はじめ関連労働者を強制的に動員し、従わない自治体の指揮権を奪い、個人を処罰するという具体像が出されています。戦後日本宣傳本によれば、かつての日帝は二

生み出されています。  
また海外での侵略反革命戦争を必要とするま  
でに巨大化した日本の独占資本は、国内におい  
ては、コスト削減の名のもとに膨大な労働者を  
失業・不安定雇用へと突き落としています。国  
内外において、独占大資本と労働者・民衆の階  
級的利害対立が非和解的に深まるのは避けて通  
れません。

その第一は、米英のように大規模に侵略反革  
命戦争が発動できる国家体制を整備することで  
す。

第二は、独占大資本の利益拡大のための社会再編を進めることです。



ていると主張して、リストラ・労働条件切り下げを進めてきました。

あい次ぐリストラ・倒産によつて失業率五・四%（約二七五万人）となり、また非正規雇用労働者はこの六年間で統計では約三八〇万人増加、雇用者全体の二六%—一三七七万人となり、実質的には三〇%を超えようとしています。失業者・不安定雇用労働者のいすれもがまだまだ拡大する見込みです。非正規雇用労働者の年収は、二〇〇万円前後と言われており、家族全員が長時間働かなければ生活できない状況になろうとしています。職を失うとともに野宿者となる労働者も急増しています。

こうした状態に直面し討ちをかけるよう、虫

占大企業への優遇策と、またそれと裏腹の労働者大衆への負担増が顕著になっています。日本経団連は、日本の国際競争力の維持・向上のための税制改革—企業減税、企業の社会保険負担

料の見直しを提唱しました。戦後、社会福祉制度が貧弱な中で、労働者のたたかいによって大企業は企業内において一定の福利厚生の負担を設けてきました。企業減税とともに、これらを削ぎ落とそうとしています。かわって累進課税制度の緩和や課税最低限引き下げによって、圧倒的多数の労働者家族への課税増を行おうとしています。消費税アップも日程にあがり始めました。これらを合理化するために、弱肉強食社会の別称にすぎない「努力したものが報われる社会」がキャンペーンされています。

上層労働者とその家族以外、生活することができます困難になる社会になろうとしています。ただでさえ手薄い社会保障・公共福祉をさらに削減し、医療・教育・福祉などのサービスは、金のあるものしか充分に受けられなくなります。このような状況を当たり前とするために、日経新聞などでは、憲法からの生存権条項の削除などを主張されています。相対的下層労働者にとって、文字通り、たたかわねば生きていけない状況が訪れているのです。

第三は、階級的対立の激化を見越した治安弾圧体制を強化することです。

昨年、自衛隊法が改定され、警察と連携した国内での治安弾圧への投入が決定されました。警察や沿岸警備隊の武器使用緩和も進み、被疑固めてきました。このもとで進む日本社会の変貌は、現代世界のグローバリゼーションにつき動かされています。

## 新たな世界と危機を深める日帝

日帝—独占資本は、アジアの反帝民族解放闘争や全世界の反帝・反ファシズム闘争によって、有形無形に課せられていた敗戦帝国主義としての制約を打ち破り、アジア・全世界の労働者・民衆の敵として立ち現れる道を一步一步、踏み固めてきました。このもとで進む日本社会の変貌は、現代世界のグローバリゼーションにつき動かされています。

グローバリゼーションとは、巨大独占資本が価値増殖のためにひき起こしている世界的運動です。独占資本は自国内では、すでに市場を支配し自由競争など名ばかりのものにするまでに集中・集積された生産と資本を手にしています。独占資本はよりいっそうの利潤を得るために、一国では吸収できないほどの巨額資本を使って、何でもありの激しい世界的抗争を行っています。九〇年前後するソ連・東欧社会主義の崩壊、中国の市場開放政策の推進とWTO加盟などに

者への発砲が増えています。少年法改正など刑罰強化も進んでいます。

労働者・民衆のたたかいそのものを監視し、葬り去ってしまう体制も整備されてきました。人民監視のために、一一桁の数字で個人情報をすべてデーター化する住民総背番号制が導入されようとしています。主要道路にはNシステムという車両監視・記録装置、街中にはコンビニを使った往来監視システム、情報統制のためのメディア規制三法、電話・ファックス・電子メールには盗聴法など、民衆をがんじがらめにする監視網ができています。また労組法改悪や個別労使紛争処理システムによって、労働者の集団的決起を押さえ込み、たたかう労働組合に対しては組織犯罪対策法によって組織そのものを叩き潰そうとしています。

独占資本と労働者・民衆との非和解的な対立が深まる時代に対応し、戦後国家統合の「建前」であった戦争放棄—集団的自衛権の否定、市民的自由と生存権の保障、労働三権などが、単に形骸化していっているだけでなく、もはや法的に制度的にも否定され、書き換えられ始めているのです。

有事立法—改憲を通して、戦後政治は最終決算され、時代は新たな局面に入ろうとしているのです。

よって、市場一体化が進み、この抗争は苛烈さを増しています。いつそうの利潤を生み出す安い生産手段・原材料・労働力・交通手段・諸優遇策をめぐって巨大資本があい争う中で、うち倒された企業や金融資本の吸収・合併が行われ、世界的な資本の集中・集積—寡占化が進んでいます。数年前の自動車産業をめぐる大再編など、NTTも参入して見事に失敗し、特損二兆円の大赤字を出し、一一万人合理化に至らせた情報産業めぐる投資・買収戦・粗鋼生产能力約一億トンのうち三分の一が世界的に過剰と見られ(OECD試算)、セーフガードの応酬といふ保護主義の連鎖を生み出している鉄鋼産業など、激しいしおきあいの中、各産業で生き残るのは世界の数社といわれています。巨大資本の生き残りをかけたこのような国際的抗争の中に、日本も叩き込まれていています。

グローバリゼーションとは、独占資本の利潤追求のための世界的運動であるとともに、独占資本による世界支配の暴力的な貫徹です。一定の歴史段階で登場する帝国主義とは、生産と資本の集積が独占を生み出すまで高い段階に達した資本主義のことにはなりません。帝国主義諸国は、このグローバリゼーションが生み出す労働者・民衆の反抗や階級闘争、また障壁となる

者への発砲が増えています。少年法改正など刑罰強化も進んでいます。

労働者・民衆のたたかいそのものを監視し、葬り去ってしまう体制も整備されてきました。人民監視のために、一一桁の数字で個人情報をすべてデーター化する住民総背番号制が導入されようとしています。主要道路にはNシステムという車両監視・記録装置、街中にはコンビニを使った往来監視システム、情報統制のためのメディア規制三法、電話・ファックス・電子メールには盗聴法など、民衆をがんじがらめにする監視網ができています。また労組法改悪や個別労使紛争処理システムによって、労働者の集団的決起を押さえ込み、たたかう労働組合に対しては組織犯罪対策法によって組織そのものを叩き潰そうとしています。

独占資本と労働者・民衆との非和解的な対立が深まる時代に対応し、戦後国家統合の「建前」であった戦争放棄—集団的自衛権の否定、市民的自由と生存権の保障、労働三権などが、単に形骸化していっているだけでなく、もはや法的に制度的にも否定され、書き換えられ始めているのです。

有事立法—改憲を通して、戦後政治は最終決算され、時代は新たな局面に入ろうとしているのです。

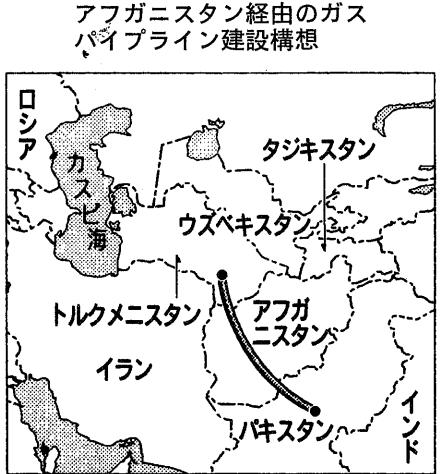
現状二八六〇億バレルと推定されるアメリカの国内石油埋蔵量は、このままでは二〇一〇年に枯渇するといわれています。石油資源の安定的確保のため、米帝は中東地域においてはイスラエルを後押しし、サウジなど親米政権に米軍を駐留させ、アラブ民衆と対立してきました。九・一事件とは、このようなアメリカの中東支配が引き起こしたものです。「報復戦争」という名の罪なきアフガン民衆を犠牲にした戦争は、たたかう中東・アラブ民衆に向けられたものであったのみならず、カスピ海地域を中心とした米帝の中央アジア資源戦略を実現するための侵略戦争でもあったのです。

今年五月三〇日、アフガニスタン・パキスタン・トルクメニスタンが合意した天然ガスの大規模パイプライン建設計画は、九五年以来、アメリカの石油会社ユノカルが熱心に進めてきたものであり、アフガン政権のカルザイ大統領がこのパイプライン建設のコンサルタントであったのは有名な話です。

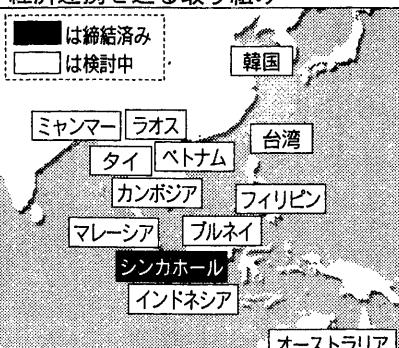
帝国主義の中東—世界支配の拡大と、そのヘゲモニーをめぐって、米帝の「テロとの戦争」に、欧州諸帝、日帝はもろ手を上げて賛同の意を表明し、こそつてアフガン侵略戦争に参戦しました。「テロとの戦争」を旗印に、イスラエルはパレスチナ民衆への無差別攻撃を激化させました。

米帝・ブッシュは、さらにイラク・イラン・朝鮮民主主義人民共和国・リビア・シリア・ストラーダン・キューバなどを「悪の枢軸国」「テロ支援国家」と規定し、侵略戦争の拡大を宣言しました。米軍一〇万人を配備するアジアにおいては、すでにフィリピンでの軍事演習の名を借りた米軍の戦闘が行われ、これに伴い人民運動活動家の誘拐・逮捕など政治的迫害が強まっていました。

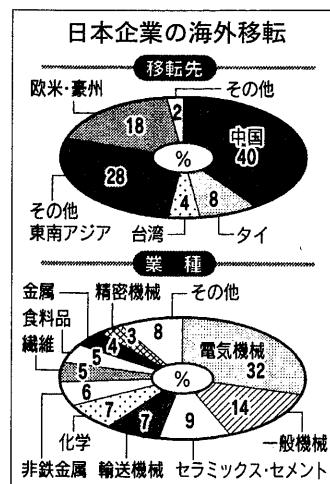
五月二十四日、米帝・ブッシュはロシアとの戦略核削減条約に調印し、戦略核分野での負担を軽減し、「中東や朝鮮半島での地域紛争」、「テロ勢力に対する非対称的戦争」、「中国などの脅



日本とアジア各国・地域のFTA、  
経済連携を巡る取り組み



(注)タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアは  
対ASEANとして検討中



## ★ 戦争と生活破壊 ★

「シヨン」のさらなる推進のためには、これらの「脅威」への剥き出しの侵略反革命戦争しかないことを、帝国主義者は知り抜いているのです。朝鮮戦争・ベトナム戦争などによるアジア労働者・民衆の犠牲と、日本労働者の低賃金長時間労働によって、驚異の帝国主義復興を遂げ、米帝に次ぐ経済的地位を築き上げてきた日本帝国主義も、こうした動向から決して自由ではありません。国内においては労働者・民衆の雇用・生活を破壊する新自由主義攻撃を、国外に向けては侵略反革命戦争を推し進める以外、日帝一独占資本の生きられる道はありません。

世界の独占資本は、どれだけ労働者・民衆を搾取し利潤を上げられるのかという競争戦に駆り立てられています。ソ連・東欧、そして中国などの市場化は、独占資本の前に新たなビジネスチャンスと、数億人規模のより安あがりの産業予備軍を生み出しています。中国やアジアでの生産コストに、日本国内の生産コストは太刀打ちできず、「構造的設備過剰、有利子負債、人員過剰」という三つの過剰」(日経新聞)が生まれ、日本企業の国際競争力は世界三〇位にまで下落しました。この突破のために、生産のア

世界諸国の地場産業をなき倒し、農村を衰退させ、その国の経済構造を多国籍資本に従属した歪んだものになっています。その土地・資源・労働力を使って作られた商品は、すべて多国籍資本のものであり、その国の人々を決して潤しません。逆に、多国籍資本を受け入れるためのダムや道路や港湾などのインフラ整備のために、多額の債務を抱え、債務の返済に労働者・民衆が苦しめられるという事態が第三世界には満ちあふれています。

帝国主義本国においても、国内産業の空洞化が進行し、不安定雇用労働者や野宿者の増大が、特徴的な社会現象として現れています。

国連貿易開発会議(UNCTAD)が発表した二〇〇一年最貧国報告書では、世界経済が今まで推移すれば、一日に一ドル未満で生活する極貧人口は二〇一五年には1億人以上増え四億二〇〇〇万人に達すると発表しました。価格調整のために捨てられるほど食料が過剰である

## ★ ますます犠牲を ★

グローバリゼーションは、全世界の労働者・貧農・被抑圧人民と帝国主義一独占資本との対立をますます深めています。

## 要求される共産主義運動の再生



食料は利潤追求のための商品ではない！(イタリア・2002年6月)

多国籍資本は、巨大な生産能力をもつて第三世界諸国の地場産業をなき倒し、農村を衰退させ、その国の経済構造を多国籍資本に従属した歪んだものになっています。その土地・資源・労働力を使って作られた商品は、すべて多国籍資本のものであり、その国の人々を決して潤しません。逆に、多国籍資本を受け入れるためのダムや道路や港湾などのインフラ整備のために、多額の債務を抱え、債務の返済に労働者・民衆が苦しめられるという事態が第三世界には満ちあふれています。

地球温暖化問題や遺伝子組み替え食品など、兵器によって、アフガンやパレスチナに典型的に見られるような民衆の無差別殺戮・国土破壊が、資源・領土をめぐる紛争や戦争で多発しています。

またかつてとは比べものにならない大量殺傷も、利益追求を第一義にする多国籍資本の活動の中で深刻なものとなっています。

人類の生存の基盤を揺るがすような地球環境の破壊も、利益追求を第一義にする多国籍資本の活動の中でも深刻なものとなっています。もはや帝国主義一独占資本のグローバリゼーションはかわらず、国連食糧農業機関(FAO)によると、世界には約八億の飢餓人口が存在します。

活発化し、現代の「大東亜共栄圏」とでもいべき経済圏建設が着々と進んでいます。このような中、ウシオ電気会長は「米国は海外侵出企業が地域紛争に巻きこまれても、空母を派遣すれば安泰！」しかし日本の場合、個別企業が天下に祈るしかない」と戦争体制構築の願望を露わにしました。

ジア移転が進むとともに、「コスト削減」を掲げる資本家たちによってアジアや中国の労働者の賃金にしわ寄せされる方向で労働条件切り下げが進み、デフレが進行しています。日本における産業空洞化は必至であり、また日本国内においても、国際競争に耐えられる利益獲得構造を作るために、リストラで正規雇用を減らし、使い捨てで自由で安上がりの不安定雇用労働者への置き換えが進むのです。

すでに日本は、八〇年代以来、海外に対する債権が債務より多い「債権国」となり、外国債権の利子収入、海外子会社からの配当金が増え続けています。その純海外資産は一七九兆円にも及びます。昨年には、海外資産からの収益である所得収支の黒字が八兆八二五八億円と過去最高になり、モノの輸出で稼ぐ貿易黒字を初めて上回りました(財務省二〇〇一国際收支速報)。製造企業のアジア子会社だけで現在六二七六社となり、今後、大手の海外シフトはいっそうの加速が見込まれます。これらを背景に、東アジアを手始めに自由貿易協定(FTA)の動きが

帝一独占資本は、有事立法・改憲を何が何でも実現し、侵略反革命戦争の道にのめりこむとともに、圧倒的多数の日本労働者・民衆、アジア諸国労働者の雇用・生活を圧迫し、激しい階級対立に向かわざるをえないのです。

国際的規模での独占資本間抗争は、巨大な生産力を生み出せば生み出すほど苛烈になっていきます。生き残りをかけて、独占資本はますます国内外の労働者への榨取を強め、ここから生み出される反抗を暴力的に打ち碎くことを迫られるのです。日帝一独占資本もまた、グローバリゼーションが生み出すこのよだれ減滅的な道を進まざるを得ません。そのことをよく知る日帝一独占資本は、有事立法・改憲を何が何でも実現し、侵略反革命戦争の道にのめりこむとともに、圧倒的多数の日本労働者・民衆、アジア諸国労働者の雇用・生活を圧迫し、激しい階級対立に向かわざるをえないのです。

ショント、世界の労働者・民衆とは共存しえないのです。

ますます世界は一体化し、生産の世界的結合が進み、巨大な生産力が日々更新されづけています。これほどに世界的に結びついて発展し、世界全体に強い影響を及ぼすまでに社会的なものとなつた生産手段と生産物は、にもかかわらず依然として社会のものではなく、ますます一握りの欧米や日本などの独占資本・多国籍企業、金融独占資本の手に集中されています。

さらなる価値増殖のために巨大独占資本がひき起こしている世界的運動は、世界を自己の権益のために分断し、世界を抑圧民族と被抑圧民族、富める者と貧しい者に引き裂き、民族的対立を生み出し・拡大し、侵略反革命戦争を大規模にひき起こしつづけているのです。

## ★ わきおこる世界 ★ 的な民衆の闘い

このような現代世界に対する批判と、労働者・民衆の抵抗闘争が、国境を越え全世界でわきあっています。金融独占資本・多国籍資本を主人とする帝国主義世界からの解放を求め、全世界で様々な部分によるたたかいが絶えなく生み出されています。

### 〔イスラム政治勢力〕

イスラム世界において、イスラムの教えにもとづいて非西洋・非資本主義の世界文明をめざすイスラム復興運動が拡大しています。それは、帝国主義の下で深まるイスラム諸国の深刻な政治腐敗・経済格差・社会矛盾を背景にして生み出され、その変革と被压迫民衆の解放をめざすという側面を持っています。

しかしイスラム復興運動は、被抑圧人民の現実の国際的なたたかいではなく、イスラムの教えや神による救済による救済に、解放の希望を求めるという反動的な側面や、敵を帝国主義ではなく、宗教上の背教者・異教徒に求めるという排他的側面をもっています。そのため、不断に帝国主義との妥協やテロリズムに陥る傾向をもっています。

私たちはこのような傾向とたたかうとともに、帝国主義がふりまくイスラム世界に対する差別・偏見とたたかい、帝国主義のくびきから世界を解き放つ闘争主体として、ともに団結してたかいう連帯関係をイスラム諸国人民との間で作り上げる努力が必要です。

### 〔歐州社民勢力と極右〕

欧洲では、欧洲民政権の退潮と右派の台頭が、單一通貨ユーロの導入をはじめとする欧洲市場の統合に伴い進んでいます。

一九九〇年代後半、欧洲民政権は、イギリス・サッチャーに始まる新自由主義政策を批判し、社会福祉政策を掲げ次々誕生しました。一九九八年には、欧洲連合（EU）一五カ国うち三カ国が民政権となりました。

昨年来、イタリア、デンマーク、ポルトガル、オランダで右派政権への転換が続き、先日フランスでも社民勢力は選挙で大敗しました。これら

の事態は、グローバリゼーションを容認しながら一国内での階級矛盾の緩和政策をめざすという欧洲社民の福祉国家路線が、グローバリゼーションの前に破たんしたことを物語るものでした。グローバリゼーションと帝国主義の世界支配に対してもたかいの指針を持ちえないものは、その国の労働者・民衆の解放を切り開きえないまでに世界の階級闘争は発展してきました。

このようなかな、イギリス労働党などは、帝国主義の繁栄を自己の利益と重ね合わせるブルジョア政党としての道を選択し、労働者との対立を深めています。

欧洲においても深まる失業・不安定雇用・ホームレス問題、また二〇〇四年の中・東欧諸国EU新規加盟で見込まれる年間数百万の移民流入などへの反発をバックに排外主義が台頭し、一部の国では極右が政治の主役にのし上がってきました。これらはナショナリズムの立場から、反グローバリズムの社会運動を提唱し、歴史を後ろ向きに回そうとしています。

フランスでの極右反対の一三〇万人デモ、スペインでの移民連帯の二〇万人デモなど、これらへの反撃も開始されました。

### 〔反グローバリズム勢力〕

宗教やナショナリズムによる解決ではなく、グローバリゼーションとのたたかいをG8・帝国主義諸国や多国籍資本に対するたたかいと結びつける労働者・民衆のうねりもまた、全世界で始まっています。

先日六月二六日には、カナナスキス・サミットに対し「G8は貧困国を搾取をやめろ」「ブッシュは戦争政策をやめろ」などを掲げ、全世界のNGOや人権擁護団体、反資本主義団体がデモを行いました。これらの反グローバリズム運動は、金融独占資本・多国籍資本を主人とする帝国主義世界とは異なる「もう一つの世界」を求め、世界銀行やIMFに対し貧困国の債務削減や経済格差の是正を求め、多国籍企業への直接行動を起こし、また、昨年来、米英を軸にした「テロとの戦争」に対し国際的な反戦行動を各國で繰りひろげています。アジアにおいては、より鮮明に反帝國際連帯、アジア労働運動・民衆運動の結合を基盤にした反帝アジア人民

政治統一戦線の萌芽が、AWC—アジア共同行動として登場しています。IACなど米帝本国の反グローバリズム団体が、これらとの国際的連携や共同闘争を開始しています。

## 再生をかちとれ

これら現代世界の変革を求める運動を、今、共産主義運動の歴史的復興と結びつけていくことが求められています。

共産主義運動は、人間が階級社会に分裂して以来、被支配階級の悲惨と貧困に抗して、これに屈服することを拒否する人々のたたかいの中から生み出されてきた解放への希求です。一九世紀後半、マルクスらは、資本主義社会がこの希望としての共産主義を現実のものとして展望しある時代の幕を開けたことを明らかにしました。すなわち、階級も差別もない社会を切り開く歴史的条件をもつ階級としてのプロレタリアートを、資本主義は次の社会の主人公として生み出し、鍛えつけていること明らかにしたのです。

労働者階級は、生産物や生産手段の私有から自由で無所有の階級であり、社会の圧倒的多数者へと発展していく階級であり、高度に社会化された協業を担い、大工業生産手段を実際に動かす現代社会の主人公です。労働者階級は、地域を越え、国境を越えて団結して社会変革の原動力となり、また団結によってのみ自らを解放します。そして労働者階級は、独占資本によって歪められた社会的生産諸力を解放し、真に社会のために使い、発展させる歴史条件を持つています。

現代世界は、帝国主義世界から社会主義世界への過渡期としての世界です。もう資本主義社会のものではこれ以上発展しようがないほどに世界的・社会的性格を持った生産手段と生産物をめぐる、帝国主義・独占資本とこれに対立して成長する国際的な労働者階級・被抑圧民衆との攻防の世界です。労働者階級を、帝国主義・独占資本にとってかわって現代世界の主人公としていく歴史的な挑戦のただ中に私たちは存在しています。

共産主義運動は、二〇世紀には幾つかの国での社会主義革命を成功させました。それは労働者・民衆を犠牲にして成長した資本主義が、一部の先進国で独占の段階にまで発展し、世界の労働者を世界再分割支配の侵略戦争の災禍へと引き入れる帝国主義世界の時代がはじまつたことを背景にしています。

ロシア革命は、これへの真っ向からの挑戦でした。それは同時に、全世界の共産主義者・プ

ロレタリアートによる帝国主義の世界的打倒と社会主義世界の獲得にむけたたかいの始まりでもありました。第三インターが創設され、国際労働運動の結合がめざされ、民族解放闘争の内部からも社会主義勢力が誕生し、多くの共産主義者・労働者民衆の試行錯誤が世紀をまたぎ行わされてきました。

労働者階級を社会の主人公とするプロレタリア独裁の試みは、残念ながらまだ成功せず、大きな試練の中あります。のみならずスターリン主義を発生させ、ソ連・東欧社会主義の崩壊のみならず、国際的な共産主義運動の衰退と困難をもたらすに至りました。

スターリン主義とは、帝国主義列強の激しい干渉、国内の小生産者や農民の反乱、ヨーロッパ革命の敗北という当時のロシア革命が直面した困難を固定化した路線です。それは社会の發展の原動力を革命的階級—プロレタリアートの成長に見ることができず、国家による計画経済と生産力の発展に見るという生産力主義でした。従ってそれは、前衛党の役割を国家運営へと解体し、プロレタリア独裁国家の生きた実質である労働者・農民の代表たちのソビエトを押しつぶし、労働者・農民による社会主義に向けた階級闘争の発展の道を断ち切った反人民的なものでした。それは、帝国主義とたたかう国際的な労働者階級のたたかいの結合ではなく、ソ連国家防衛のために各階級闘争の従属を要求し、第三インターを解体に導きました。挙句の果ては、一国で社会主義が可能であるという一国社会主義を路線化し、「平和共存・平和競争・平和移行」をかけたフルシチヨフ路線にまで行

きついて、帝国主義との闘争を放棄したのです。これらスターリン主義は、国際階級闘争と共産主義運動にはかりしれない傷跡を残し、その下にあったソ連・東欧政権もろとも崩壊に至りました。

共産主義運動はこのような多くの敗北を経ながらも、帝国主義世界から社会主義世界への継続するたたかいの真っただ中にいます。私たちはこの歴史的敗北の教訓を糧にして、帝国主義—独占資本とたたかう全世界の労働者・民衆の解放の希望として共産主義運動を復興していくことが必要です。

世界的な侵略反革命戦争と新自由主義攻撃の嵐の中で、帝国主義世界を終わらせるところで、歴史主体である労働者階級による国境を越えた連帯と共同闘争、結合がすでに開始されています。国際的規模で吹き荒れる民営化や規制緩和・権利剥奪に対し、港湾・公共交通運動をはじめとして労働者階級のたたかいは国境を越え連携し、労働者階級こそが生産や流通の担い手であり、社会の主人公であることを主張し始めています。「報復戦争」などというものが帝国主義—独占資本の侵略戦争であることを見抜き、世界的な反戦闘争に立ち上がりはじめています。

この労働者階級のたたかいのダイナミズムを断固として発展させ、帝国主義—独占資本の世界支配を終わらせる歴史主体へと労働者階級を世界各国で形成し、階級支配そのものの廃絶をめざす共産主義運動を復興していくことがすべての共産主義者に要請されているのです。

## 新たな時代を切り開く闘いへ

日本の労働者階級を自国帝国主義—独占資本との攻防を通じ、この歴史的攻防の主体へと形成していくことが必要です。

## 全人民政治闘争

まず第一に、私たちは今春季に引きつづき、日帝—独占資本による「國家総動員体制」づくりと侵略反革命戦争発動に対する全人民的政治反撃を全力で組織することが必要です。

今春季には、共産党・社民党・民主党の一部による超党派共闘が成立し、陸・海・空・港湾二〇・労組の呼びかけで、六万五〇〇〇人を結集した六・一六全国集会をはじめ、連合・全労連・全労協が共同した有事三法への反対闘争が行

## ★ 反帝國際共同闘争を推進しよう ★

第二に、有事法—改憲阻止を中心とするこの一時代のたたかいを、国際反戦・反帝闘争、国際反グローバリズム闘争と結びつけていくこと・労働運動を押しあげていくことです。

アジア規模で日米帝国主義との攻防の一時代がはじまる中で、政治闘争・労働運動・学生運動の国際的な結合や共同のたたかいが活発化しています。これらを後述する階級闘争の構造建設とがっちりと結びつけ、大衆的なたたかいへと発展させていくことが必要です。

政治闘争においては、韓国・沖縄・フィリピンを中心としたアジアからの米軍・米軍基地撤去を求めるたたかいが行われています。フィリピンBAYANなどからは「アメリカのフィリピン軍事介入に反対する国際連帯使節団」が呼びかけられ、この七月下旬には実態調査が行われます。今秋期には、米帝の「対テロ戦争」と日本の有事法制に反対し、ブッシュの戦争犯罪を追及する国際シンポジウム・国際反戦共同闘争が行われようとしています。

労働運動においても、韓国のオムロンや太平



米国とイスラエルの旗を燃やす若者（パレスチナ）

洋セメントのたたかい、フィリピンのトヨタや横浜タイヤのたたかいなど、アジアの労働者と連帶したたたかいがすでに開始されています。多国籍資本による労働運動弾圧、権利剥奪、非正規雇用化など共通する課題はますます広がっており、帝国主義による分断を打ち破つて共同のたたかいを強化することが求められています。今年のISAにおいてフィリピンKMUは、昨年五月に創設された国際民衆闘争連合(ILPS)と共に、反帝労働運動の建設のため来年のISA時に国際労働組合会議を開催することを呼びかけました。

私たちはこれらの動きを断固として推進し、アジア階級闘争の実践的結合、とりわけ労働者階級の組織的団結・融合を進めていきましょう。

## ★新たな階級闘争の構造の建設へ★

そして第三に、日本の労働者階級を日帝一独占資本と対決する一大勢力へと形成していくことです。独占ブルジョアジー・日帝を打倒し、これにとって代わる新たな支配階級として労働者階級を形成することが必要です。そのための新たな階級闘争構造を作り出していくたたかいが急がれます。新たな階級闘争構造の柱は次の三つです。

一つには、戦後日本労働運動を性格づける企業内本工主義からの転換を実現し、新たな階級的労働運動を建設することです。

企業や雇用形態、性別、国籍などの違いによる分断をこえて、共通の要求を持って団結しめる地域や産別、そして全国的な労働運動を切り開くことが必要です。現場では、一人の失業・労働条件切り下げ・権利剥奪も労働者全体の痛みとするたたかい、非正規雇用労働者の権利確立と均等待遇を求めるたたかいなどの構築が急がれます。

こうした時代的要請を背景に、全港湾・全日建・全国一般全国協は、左派中小労働運動の共闘・統合の努力に踏み出しました。各地域の合同労組やユニオン、官公労の左派労働者などの努力・チャレンジが行われています。

解雇制限法などの政策・制度要求、労働条件向上や時短・均等待遇など、労働者大衆全体の地位・権利向上のために連帶したたかいを前進させ、実力ある階級的ナショナルセンターの地域・全国構造に結実させが必要です。

資本主義批判を持ち込み、労働者を主人公とする新しい社会展望のための闘い＝社会主義との結合を実現することが必要です。

二つには、戦後日本の全人民政治闘争を性格づけてきた一国平和主義からの転換を実現し、

反帝・国際主義へと向かう政治闘争を建設することです。

資本に対する経済的たたかいは、政治的たたかいとしっかりと結びつけられることが必要です。とりわけ、アジア労働者・民衆との連帯、結合を強める政治的たたかいはきわめて重要な批判、アジア進出企業の労働者抑圧へのたたかいがわき起っています。反戦・平和運動を組織するとともに、これをアジア労働者・民衆の利益と結びつけ、反帝・国際主義へと発展させていくことが必要です。AWC＝アジア共同行動は、そのために大きな役割を果たすものです。

また、現在の侵略戦争国家への転換、弱肉強食社会への変貌の中で、沖縄を始めとする全国の反基地闘争、三里塚をはじめとする農民のたたかい、また在日、障害者、被差別部落大衆、女性の解放闘争などが、生存権をかけてたたかわれようとしています。日本帝国主義を打倒し、新たな社会を建設する階級闘争の共同の担い手として、これら被压迫・被差別民衆との政治的結合を強めていきましょう。

そして三つには、これらを一貫して日帝打倒・プロレタリア社会主義革命へと牽引する先進的部品の共同のたたかいと團結を形成することです。プロレタリア階級闘争の前進のために団結・奮闘する先進的労働者の豊かな共同事業と團結を生み出す必要があります。私たちは、独立資本とのたたかいを、かつて総評がそうであったような利潤の分け前や一国の城内平和を巡る争いに終わらせてはならず、労働者階級・民衆の新たな社会を建設するたたかいに発展させる必要があります。各地で地域・全国階級闘争を発展させようとする活動家たちの共同の試みが成長しつつあります。戦争・差別・生活破壊を許さない！行動する労働者ネットワークのたたかい、首都圏での反戦闘争実のたたかいなど、様々な形で始まりつつある先進的部分の努力をさらに発展させていきましょう。

日本共産党を批判する共産主義を掲げる勢力として、革共同がいます。このうち革マル派は、共産主義がプロレタリア大衆自身の事業であることを否定し、共産主義を「プロレタリア人間の論理」に目覚めた革マル派に結集することにすりかかる反労働者的性格を持つ党派です。これに対立する他党派を解体することで革命を実現すると言うとんでもない宗派主義です。

もう一方の中核派は、反帝・反スターリンを掲げ、世界革命や労働者権力を主張しています。帝国主義に対する闘争勢力でもあります。しかし中核派は、階級闘争の主体的動因を国際的な労働者階級の成長に見るのではなく、帝国主義間対立を見るという点で私たちと大きく異なっています。現在、「第二次世界大戦の危機」が迫っています。彼らは、革命的情勢を戦争の危機に期待し、暴動・内乱を願望する急進民主主義であり、国境を越えた労働者階級の反撃戦に日本労働者・民衆を立ち上がりさせていく道を閉ざす一国主義です。

私たち共産主義者同盟は、スターリン主義によって破壊された国際共産主義運動を再建し、



米比合同軍事演習に抗議するフィリピン人民

有事法制粉碎せよ

○人のたたかう労働者・学生が結集し、四時間におよんだ集会は大きなり成功をおさめた。

# 七・二二 共産同政治集会を開催

## 日帝との政防の先頭に立ち 共産主義運動の再生めざす

AWC運動や労働運動をわれわれとともに推進している方々からのメッセージのほか、集会には共産主義者同盟首都圏委員会の畠中文治さん、共産主義者同盟（蜂起派）委員長の楳渡さんからそれぞれ、共産主義運動の再生の事業をともにになつていこうという趣旨のメッセージが文書で寄せられた（別掲資料参照）。

日本連の共同代表である小城修一さんと、共産主義者同盟（戦旗派）の西田輝さんの連帯あいさつが、大きな拍手を受けて行なわれた。小城さんは、グローバリゼーションのもとで労働者への攻撃が強まつており、このなかで増加しつづけている非正規雇用労働者への働きかけと彼らの組織化が日本労働運動の飛躍の鍵となつているということを訴えたうえで、九・一事件以降の情勢にふれ、帝国主義の戦争攻撃が激化するなかでこれと帝国主義本国でいかにたたかうのかが問われているとし、戦争をする国づくりの最終しあげである

セージの発言は別に掲載）。

集会にかけつけたアジア共同行動の趣旨は別に掲載）。

戦旗派の西田さんは、ブントの継承をめざす諸党派が共同して革命的労働者党をつくりあげていくことが重要とする立場から問題提起を行なつた（発言の趣旨は別に掲載）。

つづいて台湾の労働党、フィリピンの党から集会にあてたメッセージが読み上げられ、集会前半部の最後に集会基調が提起された。集会基調は、進行する有事立法—改憲攻撃のなかで大きく変貌する日本社会の姿を明確にし、戦後政治が最終決算され、階級対立が激化する局面へと時代は入るうとしていること、社会の大変化の根底には巨大独占資本の価値増殖運動であるグローバリゼーションが存在しており、これが生み出す労働者・民衆の反抗を鎮圧する帝国主義の戦争攻撃が強まつていていること、もはや資本主義・帝国主義

## 国際連帯の推進を

# 七・二二共産同政治集会を開催

## 日帝との政防の先頭に立ち 共産主義運動の再生めざす

国際的な労働者階級の結合を推進する「国際主義の党」であることをめざしてきました。レーニン第三インター建設のたたかいを、現代世界の中でこそ継承・発展させるべきであると考えています。

また私たちは、帝国主義との激しい階級攻防が不可避であることを知っており、「革命的前衛党」へと自己を高め上げることをめざしました。とりわけ帝国主義本国に生きる私たちは、自國帝国主義との闘争を責任もつて推進すべきであると考えています。日本労働者階級のたたかいは、独占資本との攻防の勝利への転換点である日帝打倒—プロ独・ソビエトに必ず前進することを確信しています。この強い確信を持つて団結し、敵権力との攻防に耐え抜き、この勝利的転換点に向かってグイグイと労働者階級を牽引していく強固な革命的前衛党を、この一時代をかけて建設していくことを決意しています。

したのは、現実に生き苦悩する労働者・民衆の建設です。私たちがめざすものは、歴史上かたたような圧倒的多数者による革命であります。それを主体とした社会建設＝プロ独・ソビエトです。労働者階級は、世界の抑圧民族と被抑圧民族への分裂を終わらせ、人による人の搾取を終わらせ、人による人の抑圧を終わらせて、階級や国家そのものを廃して人類前史を終わらせる歴史的的可能性をもたらします。この可能性を現実のものとすることになります。このことは、私たちはめざします。

新たな時代を前に、私たちは党建設の発展めぐるたたかいが党的分裂へと結果するといいます。この可能性を現実のものとするため、同じ共産主義者同盟から生まれ、別の道を歩みだした共産主義者同盟（戦旗派）との統合をめざしています。新たたたかいとともに踏み出します。一九五八年、スターリン主義や日本共産

との決別の時、高々と掲げた世界革命、暴力革命、プロレタリア独裁の綱領の旗印を、新しいインターの建設と現実の労働者・民衆のたたかいの旗印としてさらに深めていく決意です。また私たちには、前衛党建設のたたかいを断固として前進させるとともに、広範なたたかう勢力を形成していくことを考えてます。反帝・国際主義、プロレタリア階級闘争の前進を求める革命的左派の共闘を拡大し、あらゆる戦場に先進的労働者の共同行動と階級的團結を作り出していく決意です。

本日の集会に召集された皆さん！困難であると同時に、新たな歴史を開く一時代が始まります。私たちの現在のたたかいが次の一步を切り開くのです。ともに最後までたたかい抜きましょ。

(各章の見出しが烽火編集局の責任で変更しました。なお、文章の一部を加筆・修正していま

がつくられるなかでアロヨ政権にに対する闘争も強まっている。エストラーダを打倒したピープルズパワーを思い起こさせるような動きが始まっている。こうした情勢のなかでフィリピンの民族民主主義革命勢力はどういうふうに対応しようとしているのか。フィリピンのある同志は次のようにいっている。『われわれは広範な共産主義者である。しかし人民の要求を実現する政府をつくるためにはいまだ道は遠い』。革命勢力は権力樹立の問題を真剣に考え準備し始めている。だ

す。すべてのみなさんの参加を訴えたい」。

青年・学生戦線でたたかう同志は次のように発言した。「このかん、新自由主義・国家主義と対決する学生・青年ネットワークや反侵略アーディア学生共同行動の仲間とともに、沖縄闘争や有事法制反対闘争をたたかいたぬいてきた。戦争への総動員に抗し、青年・学生の反戦決起とつくりだすために全力をあげる。そして青年・学生運動の階級的発展をめざしてたたかいぬく。いま相対的下層の若者が増加しており、この人たちの

協支援、組織統合をみとめた三軍連共闘などを私たちは推進していくなければならない。第三に、帝国主義のたたかいで、労働運動とを結合させていくことである。資本の本性が世界的な規模でますますむき出しへなってきているなか、反グローバリゼーション闘争の一環として階級的労働運動を建設しなければならぬ。決意表明の最後に立ったわが同盟の政治戦線の同志は、「パレスチナ人民の怒りとたたかいを心に刻みい」。

放闢争やネパール・フィリピンなど  
の民族解放―社会主義革命闘争勢力  
に対する鎮圧にまで拡大されつつあ  
る。有事立法制定策動等は、第三世界  
界の解放闘争に対し日帝が侵略反  
革命暴力を直接発動する時代がやつ  
てきたことを示している。帝国主義  
の共産主義者は、戦争反対や抵抗  
闘争にとどまることなく、他国の人  
民を支配することでしか生き延びて  
いくことができない帝国主義そのも  
のの打倒と資本主義の廃絶を正面か  
ら掲げてたたかわねばならない。か  
つてアジア侵略に加担していった日

い。強行された今回の大規模な軍事行動の背景には、多国籍資本・アロヨ政権がミンダナオで進めている開発計画が存在している。これを推進するうえで障害となるMILF（モロ・イスラム解放戦線）やNPA（新人民軍）などの反政府・武装組織が、闘争勢力をとりのぞこうとする狙いもある。現地はいま厳嵩状態におかれしており、住民やさまざまな大衆運動団体への弾圧・迫害が強まっている。他方、米軍の事实上の駐留に対しフィリピンでは大きな抗議活動が高まっている。福島第一事故関連の

て得られる『豊かさ』を拒否し、多くのものは得られないが平和な社会を選び、結果として心の豊かさを獲得するという思想もある。われわれはグローバリゼーションと戦争によって得られる『豊かさ』を拒否し、国際連帯、とくにアジアの民衆との連帯によって得られる豊かさこそを追求すべきだ。あらゆる差別をなくし、社会的富の平等な配分をめざす共産主義社会をつくるう。これを実現する国際共産主義運動を再建しよ。全国労政は八月四日に大会を開催すべく、所にて行動綱領の採決をう

効者が増加している。企業内組合の  
限界を越え、地域の労働者に支えら  
れた地域合同労組を組織し、経済闘  
争の段階から労働者階級のもつてい  
る革命性を発露させ成長させるよう  
な運動を私たちはつくっていかねば  
ならない。第二に、労働者の社会的  
・全国的闘争を発展させることが必  
要である。こうした闘争が存在しな  
ければ、労働者がみずからを階級の一  
員として自覚していくことは困難の  
である。労働者の社会的・全国的闘  
争を再建していくために、上部団体  
の籠へ戻ることなく組合の去向、そ

ではなく、いま強化されている日帝の侵略と一体のものである。有事法制を冷戦時代の遺物と批判する人たちもいるが間違っている。有事法制の攻撃は米帝の対テロ戦略と結びついており、米帝が対イラク戦争を準備するなかで、日帝は参戦プランの検討を始めている。自衛隊の参戦を阻止せねばならない。第三に、これらのことのたたかいを通して、日帝打倒をめざしアジアの反帝民族解放－社会主義革命運動と連帯する反帝国際主義派の政治勢力を建設することである。

コミが伝えない事実を私たちが知ることとは非常に重要な。私はフイリピンの同志から聞いたこと、目撃したことでもとして現地状況についてみなさんに報告したい」と前置きし、次のような話を展開した。「アフガンに次ぐ反テロ戦争の戦端をフイリピンで開いた米国は、現在、フィリピン国軍の訓練を名目にして一〇〇〇人以上の軍隊を現地で展開している。彼らが国際テロ集団の一味と宣伝するアブサヤフは一〇〇人足らずのびこ少教の四罪集団に十倍ほど

全国労働者政治委員会のたたかう仲間は、小泉幻想が人民のなかにいまだ根強く存在していること、小泉を上回るファシストである石原人気争が高まっていることなどをとりあげながら、国家主義・排外主義との闘争が重要になつていることを強調して次のように述べた。「私たちは、国益・国民・国家とは何かを日常的に問いつづける必要がある。国家の利益が労働者の利益に先立つという思想にとりこまれてはならない。たゞ中庸の開拓には、基地ひとつ

の希望として復権するためにたたかっていい。」  
「グローバリゼーションとは帝国主義そのものである。帝国主義が存在するかぎり労働者はまゝとうに暮らすことともできない。労働者階級の歴史的使命の実現をめざす階級的労働運動を再建しよう。このために第一に、非正規雇用労働者の闘争を推進することが重要である。労組がなければ三平ら保護されない。」

ある。戦争協力拒否を自治体などに要求するたたかいを含め、五・六月を倍する規模のたたかいを組織し、日帝の総賛賛体制構築と対決する一〇〇〇年代階級闘争の帰すうをかけた闘争として有事法制度決戦をたたかわねばならない。第二に、アジア侵略支配の総体を粉碎する闘争としてこの闘争をたたかうことである。日帝はあらゆる法的制約をとり払い、権力を集中して他国への軍事攻撃を容易にする体制をつくりあげようとしているが、それはそのまま、のま

## 各戦線の決意表明

告者は、日本の市民運動などにおいて影響力をもつてゐる「暴力の連鎖論」にふれて、「占領があつて抵抗がある。その抵抗の一形態として自爆攻撃もある。この点を無視して『イスラエル軍も自爆テロもひどい。どっちもどっち』ととらえるのは完全に間違つている」と批判し、「国際又戦闘争の一環として、ペレス大

がこれを実現するためには、米日連合によるフィリピンへの軍事介入を許さず、フィリピン人民の権力を樹立に連帶する国際的な勢力の形成が必要だ。私たちは国際共産主義運動の再建をめざすなかで、こうした要請に応えていくたたかいをつくりだしていくかねばならない」。

利害に立ちながら、社会に対する彼らの不満・怒りを資本主義との闘争へと高めあげていく。また世界の各地で同世代の仲間が反帝闘争をつづけているが、彼らのたたかいに連帯し、これと結合したたたかいをつなげねばならない。戦旗派の同志とともに、反帝国際主義に立脚した青年・学生の全国的共同行動を広げ

「つ発言する」とのべて、有事法制とのたたかいへの決起を訴えた。同志はまず、小泉政権は今国会で有事法案を成立させることができなかつたが、それは戦争動員の矢面に立たされている労働者の決起をはじめ、人民の怒りと批判が広がったためであり、このかんのたたかいをこの秋に向けござらんと発表せよう平井

日本は、高度経済成長期においては、資本主義の発展によって貧困問題は解決され、平等な社会がつくられるといわれ、私たちのような世代のものはそれを信じ込ませてきました。ところが現在のこの惨澹たる状況は、いったいどうでしょか。巨大資本は利潤率の低下から脱却するために

## 共産主義者同盟(戦旗派)

西田  
輝さん

## 發言要旨

私はこの集会の参加者のみなさまに、  
に対して次の三点について話をしたいと思  
いとります。

新しい政党を結成しなければならぬということです。ブントが輝かしい闘争の歴史をもちながらも、いまだ日本における大きな政治勢力として世の中を変革するに至っていないことがあります。ブントはその中身において、労働者人民の解放の拠点たりうる内容をもっていると確信しています。現状を打破し、日本における新しい革新のヘゲモニーを確立していくこと、これが私たちの極めて重要な任務となっていると思います。

はますます激化していきます。小泉政権は米帝と結びつきながら、独自の侵略戦争の体系づくりにまで踏み込んでいます。労働者人民や政党が、これらといかにたたかうかが問われる重要な局面がきていると思  
います。

共産主義者同盟首都圏委員会  
畑中文治さん

## 連帯メッセージ

共産主義者同盟（全国委員会）と、  
七・二一共産同政治集会に参加され

たすべての仲間の皆さんに心からの連帯の挨拶を送ります。

れ出して、一夜のうちに消え去った  
若者の不快な大群は、出口を見出せ

本労働者階級の敗北の歴史をくり返さないという決意をもって、一人ひとりの奮闘で有事法案を廃案にするたたかいにともに決起しよう』。

けつして小さなものではないとわれわれは考える。集会を通じてわれわれは、秋のたたかいへの決意を固めるとともに、日本における共産主義運動再建の重要性をしっかりと確認することことができた。そしてこうした方向のものに、いまだ少数ではあるが先進的労働者・学生を結集することができた。この成果をうち固め、夏から秋にかけた闘争を発展させ、プロレタリアートの前衛たらんとする党の建設を着実に前進させていかねばならない。

何よりも、戦争に反対するという態度を明確にした政党をつくることが必要です。全世界の反帝民族解放闘争や階級闘争と連帯し、新しいインターの建設の方向性を内包した反戦闘争が必要です。また、現在の支配体系の転換、労働条件の悪化のなかで、労働者階級に対する攻撃に全面対決していくことです。全国的な労働運動と反撃の拠点づくりに私たちが責任をもつべきです。ブントは責任をもつべきです。ブントの歴史でいえばたしかに、反帝闘争や政治闘争などもありますけれども、しかしそういったことにばかり目をむけているだけでは、新しい時代の革命党、新しい時代の階級闘争はないと思います。先進的労働者活動家から学んで、闘争のなかに新しい労働者階級の団結を見出し、ここから資本と帝国主義国家に反撃する労働運動の体系をつくりだしていくというたかいを私たちはやりぬかねばなりません。さらに、ブントじしんが党を建設するということをしっかりと自覚しなければならないと思います。現在、日本においては日本共産党、革共同両派、そしてこれらに反発する潮流という状況がありますが、こうした状況がつづくならば日本の階級闘争に展望はありません。既成のパラダイムを打破して、革命的な労働者をつくりあげていくことが必要です。いずれにせよ二一世紀は新しい時代であり、平和な時代からまさに戦争と恐慌の時代への、ねじれたような展開過程をとっていくでしょう。そうした時にブントの旗をかかげて、私たち戦旗派と共に産主義者同盟（全国委員会）が、手をたずさえて一個の党をつくり、そこに多くのブントの人たちにも結集してもらうこと、日本において労働者に立脚した政党、革命的労働者党をつくることを訴えて私のあいさつに代えたいと思います。

早いもので、昨年のこの時期に、皆さんへのメッセージを送ってからすでに一年間が過ぎ去ってしまいました。そしてこの一年は、ソ連崩壊以来一〇年を経て、世界の階級闘争と支配秩序の構図がおぼろげながら変化しました。この激動は、新生アフガン国家の成立によっても収まらず、更にイスラエルのパレスチナ軍事侵攻策定なども、この一連の経過の中に位置づけられます。米ソ二つの世界的覇権国家を基軸とする帝国主義の世界的秩序が崩壊して、米国の単独覇権を基軸とし、これに続く帝国主義諸強国が、それぞれの地域的政治経済圏の形成を媒介として世界的な支配を貫徹する新たな帝国主義秩序の形成に向かいつあると、私達には考えられます。グローバリゼーションと新自由主義の旗印の下に、世界的な展開を強める資本の運動を、新しい装いによる政治・軍事的な力の配置によって支え、他方では帝国主義本国の城内平和・国民統合を強めるものです。

こうした情勢に促され、皆さんのご尽力もあって、昨年は「反戦闘争実行委員会」が結成されました。私達もその末尾に名を連ねることになりましたことはご承知の通りです。これは、現在の様々な支配階級の反撃攻撃に対し、明確に帝国主義反対・プロレタリア国際主義を掲げる点で誠に時宜を得たものであったと思えます。とりわけ、戦後確信の後継諸組織が、自民族中心主義、一国主義の性格をあらわにし、かつての新左翼系諸組織がこれに追随して恥じない現状にあって、反戦闘争実行委員会

# 烽火

月刊 1部 300円  
(通常号)

# 労働者人民の闘いの 進路を示す政治新聞

取り扱い書店

- 東京／明治大学生協（東京都千代田区）
- 田中区） 模索舎（同・新宿区） ●愛知  
／名古屋ウニタ（名古屋市千種区）
- 大阪／大阪ウニタ（大阪市天王寺区）
- 三鈴書林（同・北区） 関西大学  
区）
- 生協（大阪府吹田市） ●兵庫／神戸  
大学生協（神戸市灘区）

烽火の定期購読をおねがいします

■郵送(密封)1年分………3,000円  
2年分………5,000円

お申し込みは大阪戦旗社まで

■郵便振替

00930-0-63333

■銀行口座

第一勸銀 551-1058150

-----

題である有事法制定上をよくお聞かせ下さい。それで、この問題についてです。与野党を問わず疑惑感がござります。まみれ利権まみれで腐り切った今日の「議会政治」への幻想を断ち、社共等既成政党にもきっぱりと見切りをつけ、革命的大衆行動に立ち上がり、大衆運動の前進のみがこの国の政治を変えることを力強く訴えていくことが、今ほど求められています。

「新たな国際主義の砦」にすることを訴えたい。先のカナダでのG8サミットで明らかになったように、昨年の「九・一一テロ」後の世界秩序が、紛れもなく「反テロ」「テロとの戦争」を強調する米帝主導の下に再編成されつつあるという動向の中で、その国際政治動向－情勢の最大の焦点に、パレスチナ問題が浮上してきたことに我々は注意を向けなければならぬと思います。

「反テロ国際協調」を唱える米帝ブッシュ政権にとって、中東政策は、

今日の思想・政治状況にあつて、われわれは、何よりも帝国主義の暴力・搾取・抑圧と闘うこと、すなわち反帝国主義の立場を鮮明にしてこそ、グローバリゼーションによる貧困と失業圧迫にあえぐ全世界の民衆と連帯し、反グローバリズムの新しい国際主義の思想と行動と連帯を前進させていくことができると言えます。

A black and white photograph capturing an audience from behind, looking towards a stage. The stage features a person at a podium with a microphone, addressing the crowd. A prominent banner hangs in the background with Japanese characters, including "全世界のたかくい人びとと連帯し" and "共産主義運動の再生をめざす 共産同政治集".

共產主義者同盟(蜂起派)

委員長 横渡さん

連帯メッセージ



社会における人々の不満の水压を示しているようです。政治の漂流と社会の閉塞そのものの革命を訴える、突き抜けた実践と理論が求められます。とはいえそれも、倦む事のない職場、地域での活動を基礎におくものでなければならないことは明らかでしょう。

「汝の馬を星につなげ」という古い格言が、イギリスの労働運動にすることを木下武男さんの著作から教えられました。日常活動は、不動の高い理念に絶えず結び付けられなければならないというほどの意味であります。チャーチズム運動の高揚期、その機関紙の名前は「ノーザン・スター」でした。星と民俗の研究者として知られる野尻抱影（のじりほうえい）は、砂漠の民の

長老が若者達に、夜をこめて旅するときの心得として教える言葉に、「北へ進むにはアルゲディを馬の行く手にみよ」云々の章句があることを紹介しています。アルゲディはいうまでもなく北極星のことです。共産主義と労働運動の結合が、一九世纪以来のラディカルズムの座右の銘であったことがわかります。

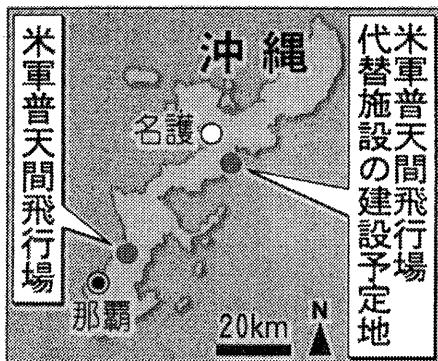
それぞれの出発点は異なっていても、共産主義運動の目的を見失うことなく実践を進めれば、いつしか皆さんとの團結を導くことになると信じます。地球は丸いのですから。

共産主義者同盟（全国委員会）の発展を願ってやみません。私達もまた、皆さんとの共同をも含めて、自らの信念に基づく実践を積み重ねていきたいと思っています。ともに闘わん！

まさに「アキレス腱」となっており、パレスチナ問題は、その中東政策で深く突き刺さった「トゲ」に他ならないのです。今こそ、米帝の「反口国際協調」「テロとの戦争」を打ち碎いていくためにも、イスラエルの軍事占領—アパルトヘイトに抵抗するパレスチナ民衆のインティフーダ（蜂起）を支援する草の根の国際連帯運動が、緊要な課題として止められていると思います。

う政治状況の中で、旧来の「セクタ的な枠組み」を乗り越えて、力を会わせ団結して行動すれば、「世界は変えられる」「どんな困難な変革も少數の闘いから始まる」、そういう氣概をもって、「思想的な希望」と「政治的な展望」をラディカルにダイナミックに、ともに切り拓いていきましょう。

これは「時代の要請」でもあり、ある意味で今が共産主義運動の再生に挑戦できる「最後の機会」かもしない。これに応えるためにも、共産同（ブント）の再建は不可欠であると考えます。試行錯誤を重ねながらもお互いに切磋琢磨し、ブント再建に力を合わせましょう。これは我々の決意の表明であり、貴同盟への呼び



**米軍普天間飛行場  
代替施設の建設予定地**

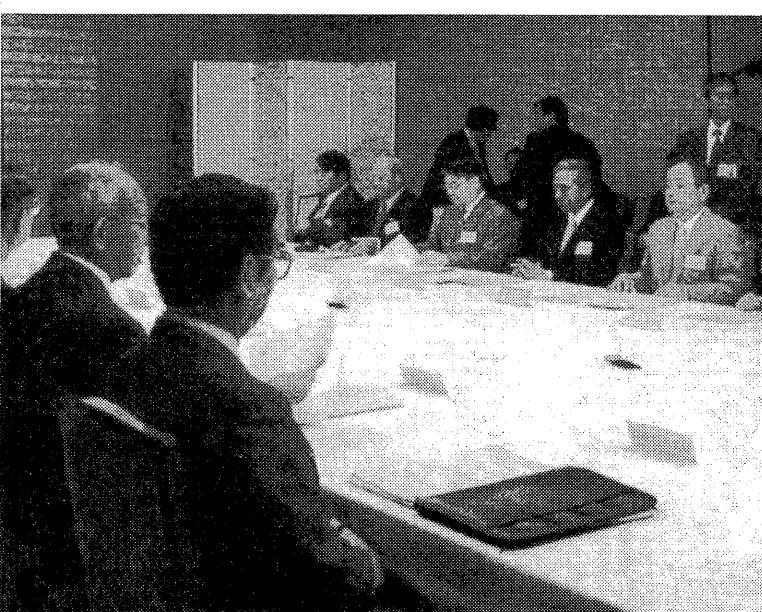
この会議で、政府・沖縄県・名護市は、「埋め立て方式で名護市辺野古沖のリーフ（珊瑚礁）上に二五〇〇mの軍民共用空港を建設する」という基本計画を決定した。空港の長さは当初の政府案から一〇〇m短くなつたが、滑走路は二〇〇〇mを維持したものとなつた。それは、現在古集落の中心から滑走路の中心までが約二・二km、平島から新基地までが約六〇〇mという近さである。リーフが埋め立てによって破壊され、ジユゴンが絶滅の危機に追い込まれ、すさまじい騒音が周辺住民を襲うことは確実である。

名護をはじめとした多くの沖縄の民衆の反対の声を踏みにじり、ついに政府は名護新基地建設の新たな段階に踏みだしたのだ。この基本計画の決定によって、政府はまず約三年をかけた環境アセスメントを行う。そして、その終了直後に着工し、工期は九年半（建設費三三〇〇億円）を予定している。

# 名護新基地建設の基本計画の決定を弾劾する

全国のたたかう労働者人民の皆さん／名護新基地建設のための「第九回代替施設協議会」が七月二九日に開催された。

この会議で、政府・沖縄県・名護市は、「埋め立て方式で名護市辺野古沖のリーフ（珊瑚礁）上に二五〇〇mの軍民共用空港を建設する」という基本計画を決定した。空港の長さは当初の政府案から一〇〇m短くなつたが、滑走路は二〇〇〇mを維持したものとなつた。それは、現在古集落の中心から滑走路の中心までが約二・二km、平島から新基地までが約六〇〇mという近さである。リーフが埋め立てによって破壊され、ジユゴンが絶滅の危機に追い込まれ、すさまじい騒音が周辺住民を襲うことは確実である。



名護新基地基本計画を策定した代替施設協（7月29日）

われわれは、この基本計画の決定を厳しく弾劾する。名護新基地建設は、最新式の米軍基地の建設であり、沖縄を侵略反革命戦争の出撃拠点としてさらに強化していくものである。

そして、リーフ上に二五〇〇mの巨大な基地を建設することは、リーフを生活の一部としてきた辺野古の住民の生活を破壊し、騒音などによってその地に住みつづけることすら不可能にするものなのだ。

この基本計画の決定にあたって、稲嶺・沖縄県知事や岸本・名護市長が要求してきた新基地の「一五年使用期限」について、政府の側はあれども反対するたなかいには、外にはありえない。

名護新基地建設に反対するたなかいは、市民投票に勝利したにもかかわらず、その後の政府の振興策をふりかざした懐柔や恫喝によって、名護市長選挙での敗北など厳しい状況

に直面してきた。この状況を突破して、名護新基地建設を阻止するためのたたかいをさらに推進していかねばならない。政府が予定する着工時期までには、なお三年の期間がある。ハリ基地反対協をはじめとした沖縄の民衆のたたかいに断固として連帯を結集して新基地着工の前に立ちはだかっていかねばならない。